

調査背景

ChatGPTをはじめとする生成AIが、WEB上での情報収集における有力な手段として台頭しており、医療業界においても医師が生成AIや論文検索AIを利用している事実は認識されているものの、「具体的に何を、どのように調べているか」という詳細な行動プロセスは不明である。本調査は、医師を対象に生成AIの浸透度や日常業務における活用実態を確認した。

調査概要／納品物／費用

調査方法：インターネット調査（TenQuick）
調査地域：全国
調査対象：内科、外科、その他（全29診療科）

有効回答：1189サンプル
調査期間：2026年2月20日～2月25日
調査主体：株式会社インテージヘルスケア
調査パネル：プラメド医師会員

調査項目一覧

- ・日常業務に関わる情報収集に使用しているデジタル媒体
 - ・日常業務で利用したことのある／現在利用している生成AI
 - ・日常業務で最も頻繁に利用している生成AI
 - ・日常業務における生成AIの利用頻度
 - ・日常業務における生成AIの利用目的
 - ・日常業務における生成AIの貢献度
 - ・日常業務における生成AIの活用割合
- ・生成AIの回答に対する「信頼性」と「確認（ファクトチェック）」のスタンス
 - ・日常業務における生成AIツールの使い分け状況
 - ・日常業務において生成AIを利用していない理由
 - ・今後の日常業務における生成AI活用意向
 - ・日常業務における生成AIの利用による情報収集行動の変化
 - ・日常業務における生成AIの利用によって変化があった具体的な情報収集行動

回収数内訳

TOTAL：1189サンプル

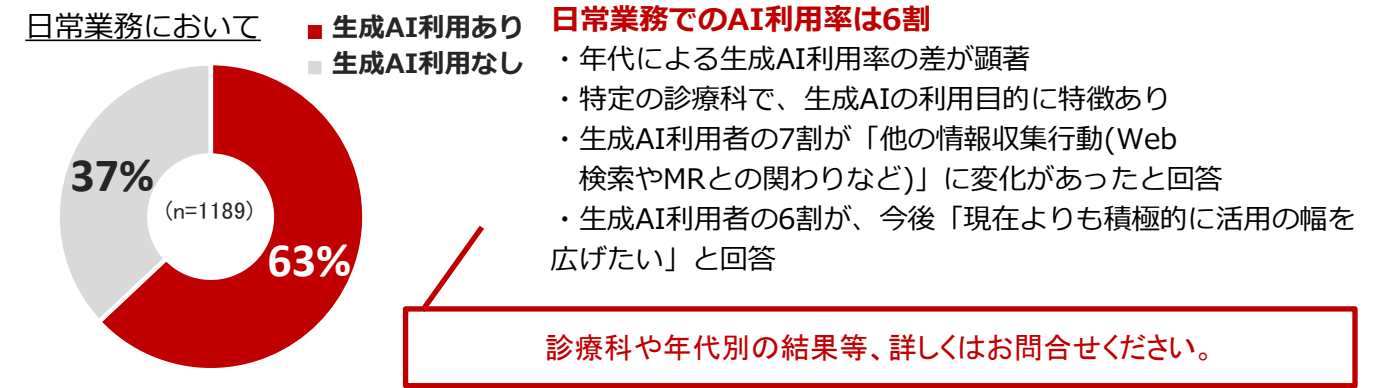
診療科		施設形態		年代	
内科計	411	診療所	462	20代	33
外科計	368	大学病院	185	30代	181
その他計	410	国公立病院	167	40代	244
		一般病院	375	50代	320
				60代	315
				70代以上	96

【内科】一般内科、腫瘍内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、感染症科、血液内科、糖尿病・代謝・内分泌、リウマチ・膠原病科、アレルギー科、腎臓内科・透析科、神経内科（脳神経内科）、心療内科

【外科】一般外科、心臓血管外科、消化器外科、呼吸器外科、整形外科、形成外科・美容外科、脳神経外科、乳腺外科

【その他】産婦人科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、精神科、小児科、放射線科、麻酔科・ペインクリニック

調査結果概要



調査背景

ChatGPTなどの生成AIを「身近な相談相手」として活用する患者が増える一方で、AIが提供する情報の正確性や根拠の不明瞭さがもたらすリスクへの懸念も高まっている。本調査では、患者の医療情報の収集方法における生成AIの利用実態や、生成AIの利用が治療や受診など具体的な行動にどのような影響を与えているかを確認した。

調査概要

調査方法：インターネット調査（TenQuick）	有効回答：1284サンプル
調査地域：全国	調査期間：2026年3月19日 ～ 3月27日
調査対象：現在、生活習慣病（高血圧/2型糖尿病/脂質異常症）または、がん・悪性腫瘍で通院中	調査主体：株式会社インテージヘルスケア
	調査パネル：dポイントクラブアンケート（ヘルスケア）パネル

調査項目一覧

- ・現在通院中の病気
 - ・現在通院中の「がん・悪性腫瘍」のがん種
 - ・現在通院中の病気の診断時期
 - ・普段、情報収集に使用するデジタルツール
 - ・医療に関する情報収集に使用するデジタルツール
 - ・医療に関する情報収集で最初に使用するデジタルツール
 - ・医療に関する情報収集における生成AI利用状況
 - ・医療に関する情報収集において、生成AIに聞いた具体的な内容
 - ・医療に関する情報収集において、生成AIに聞いたことがある内容
 - ・医療に関する情報の情報源別信頼度
- ・生成AIを利用した医療に関する情報収集による行動への影響
 - ・生成AIを利用して医療に関する情報収集をしてよかった点
 - ・生成AIを利用して医療に関する情報収集をしてよくなかった点
 - ・生成AIの回答に対する「信頼性」と「確認（ファクトチェック）」のスタンス
 - ・医療に関する情報収集で生成AIを利用していない理由
 - ・現在通院中の病気の治療・医師とのコミュニケーションに対する満足度
 - ・今後の医療に関する情報収集における生成AI活用意向

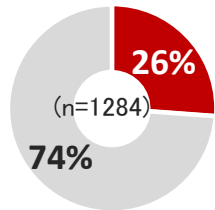
回収数内訳

TOTAL：1284サンプル

年代		疾患		性別	
20代	40	生活習慣病	780	男性	630
30代	219	がん・悪性腫瘍	628	女性	654
40代	248	※生活習慣病とがん・悪性腫瘍の両方に該当する方は124サンプル			
50代	259				
60代	260				
70代以上	258				

調査結果概要

医療に関する情報収集



- 生成AI利用経験あり
- 生成AI利用経験なし

医療に関する情報収集での、生成AI利用率は3割弱

- ・生成AIから得た、医療に関する情報の“信頼度”は低い
- ・生成AIに聞く内容は「気になっている症状(考えられる病気、対処法など)」が最多
- ・今後の生成AI活用意向は「使ってみたい気持ちはあるが、様子を見ながら慎重に考えたい」が最多

疾患群／年代別の結果等、詳しくはお問合せください。